



第18回例会

平成19年11月7日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1.開会点鐘 2.国歌斉唱、Rソング「奉仕の理想」
- 3.四つのテスト 4.来訪者紹介と会長挨拶
- 5.地区大会表彰伝達式 6.幹事報告 7.『ロータリーの友』読みどころ 8.ガバナー補佐スピーチ
- 9.各委員会報告 10.閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 11月21日(水) ゲストスピーチ
パストガバナー 鈴木喬二様
IAC連絡協議会(郡山市総合福祉センター)
指名準備委員会
- 11月28日(水) 臨時理事会
斎藤実ロータリー財団委員長スピーチ

会長挨拶

武藤 正隆会長



こんにちは。恒例の俳句をお楽しみ頂きたいと思っております。さり気なく 聞いて身にしむ 話かな (富安風生作)

うなずいたり、感動や表情を出さずに外形はサラリと聞いた話の内容は、実はグッと身に応え、心から感銘させられる話で、自分にとって切実なので、かえって平静を装って聞いたのですよといった意味です。

この俳句で難しいところは、季語がどこにあるのかということです。調べてみますと、「身にしむ」という言葉は秋を表す言葉で、非常に専門的な知識を要する

季語で、そのようにひねった俳句といえます。同様に、ロータリーの4つのテストも、さり気ない唱和の中に身にしむ内容が意味深く込められているように思います。

本日は、当クラブが大変お世話になっております都通彦ガバナー補佐をお迎えし、スピーチを賜ります。また、各種表彰を受けられた会員におかれましては、おめでとうございます。

当クラブでは、会長エレクトの選定手続きの準備に入り、次年度ならびに次々年度に向けてのクラブの人事の話が慌ただしくなっております。

本日のお客様

- 福島西ロータリークラブ 金子與志邦様
- 福島東ロータリークラブ 高橋一郎様
- 福島中央ロータリークラブ 新妻和雄様
- 福島21ロータリークラブ 佐々木廣充様

ガバナー補佐スピーチ 都通彦ガバナー補佐

今回も、ユーモアあふれた温かい口調のスピーチでした。

さて「クラブ」というものを、私なりに解釈いたしますと、志しを同じくする人の集まり・団体となると思います。

「ロータリークラブ」の最大の強み・偉大さは例会にあると思います。例えば、クラブの訪問に際しては、会長はじめ会員の厚意と友情に感謝いたします。

また、ロータリークラブ全体が100年以上も続いていることや、福島南ロータリークラブが40年近くも続いていることなどの根拠は、4つのテストの「真実であるか、どうか」にあるのでは、と考えています。

それは「真実であるがために継続している、真実なくして継続はしない」ということです。そうしますと、



真実あるいは真理とは何か?という疑問が湧きます。真実が存在しない限り真理は存在しないわけです。

真理とは、2つあると思います。1つは、万有引力の法則などの物理的な真理、もう1つは、歴史的・時間的な真理が考えられます。

このようなことから、ロータリークラブの隆盛は、いかに、真実であるかを示すとも言えると思います。また、更に発展している要因は情熱です。情熱のないところに良い結果はないといわれます。

ますますの福島南ロータリークラブのご発展に対し、微力ながらも労をとりたくと考えております。



(斎藤武二幹事、山村忠広幹事に、ご出席賜りました。)

2007-2008年度地区大会表彰



(ロータリー財団寄附 優秀クラブ賞 4位) (30年永年在籍賞) 佐藤 信様



(20年出席賞) 大橋 廣治様 穴戸 英男様 (新ポールハリスフェロー3名) 鈴木恵美子様 高橋 和之様 横山りつ子様



(マルチプル・ポールハリスフェロー9名) 浅倉俊一様、金子與宏様、黒羽好夫様、斎藤建一郎様、穴戸清和様、鈴木定男様、鈴木恒昭様、野地利雄様、三浦善治様



(米山功労者) 植木洋司様

『ロータリーの友』読みどころ 広報委員会 佐久間功委員長

今回も、『ロータリーの友』をよく読み込んで、解説頂きました。中でも、夏目漱石の職業分化による弊害感とその打開策が、ロータリーの設立の目的である異業種間の親睦に通じることなど、興味深い内容でした。(詳しくは、11月号18ページをご覧ください。)

前月の出席率

10月	95.94%
前年同月	84.13%
前年同月比	+11.81%